

◆◇ご意見欄◇◆

男女共同参画づくりに関する市の事業について、ご意見やご要望がありましたらご自由にご記入ください。

- 夫婦で教員をしています。学校現場にいる主人は土日は部活でほぼ家におらず、平日も朝早く夜も 23 時頃の帰宅です。育児に参加したい気持ちはあってもできない現状というのがあります。話は今回のテーマとずれてしまうかと思いますが、参加していけるような現場づくりも必要かなと…。(現在 3 才、1 才の息子がいます)地域のボランティアの方や、パート的な形で宿題のチェック、部活指導等の補助、そういった部分のサポートの充実がはかれれば職員負担も減り、家族と関る時間も増えるのでは?と思いました。働き方改革がコロナによって大きく進み、一般企業はテレワークなど働く手段や方法が多様化しました。公務員もそういった見直しが必要なのでは?と思います。関係ない内容になってしまっているかしれませんが、市民 1 人 1 人が生きやすい世の中になればと思います。/女/30~39 歳
- 女性の活躍は必要不可欠なことだが、男性のやる気をなくすようなことにならないようにしてほしい。/男/40~49 歳
- 「市の事業について何をいつおこなっているのか知らない」と感じている市民が多いと思う。新聞やテレビ等、マスメディアを通じておこなったこと、おこなおうとしていることを周知させると共に、関心を抱かせ、慫慂しなければならぬ。/男/20~29 歳
- 何か動くにしてもお金がかかります。国民健康保険税、後期高齢者医療保険料、高すぎると思います。/女/70~79 歳
- 子供を持たない(持てない)女性にも金銭的な手当てを出してほしい。子供を産むことに対する待遇、子供がいる世帯への待遇が良すぎる。/女/40~49 歳
- 女性が社会で働くために保育園、学童等の充実はもちろん必要とは思いますが、たとえば、子どもが病気になった時に、それを預かることよりも、会社を早退あるいは、休んで、子どもを親が看られるようになることを重視した方がよいのではないかと思います(休みやすい会社、環境を作って欲しいと思います)。/女/60~69 歳
- 市民の考えを吸い上げるシステム作りが大切。実質的な交流のプラットフォームを立ち上げる必要がある。0(ゼロ)からの出発である、という発想で押し付けを排除する心構えが必要と思う。とにかく先進の考え方を学ぶ必要と、それを拡めて行く熱意が欠かせない。/女/60~69 歳
- 残念ながら、私は「男女共同参画社会」について、上田市の活動が知らない。伝わって来ない。です。/男/70~79 歳
- 女性は、結婚した時や出産した時は仕事をやめ家庭に入る。まずこのことが共同参画づくりのネックだと思います。仕事をやめるという選択は女性のみ課せられ、男性がやめるという事はまずありえません。出産という国にとって一番大切な(民のいない国は国ではない)ことにより女性が不利益を被ることは、あってはならないと思います。自分で選べる社会であってほしいものです。家庭に入りたい人は入り、働きたい人は仕事が続けられる、そのためには、安心して子どもをあずけられ、急な病気や用事の時も、あずかってもらえる場所がある、そんなシステムを作る。それを行政に求めたいと思います。男女が共に活躍し、共に負担を負う。それには個人や一企業ではやっぱりむずかしいと思います。/女/70~79 歳
- 日本も外国みたいに、どんどん女性が向上して欲しい。総理や市長や県知事も挑戦して欲しい。/女/40~49 歳
- 市政に参画できる制度として、指名や推薦などの他に、希望者が自ら応募できる方法などを公示、募集する制度も取り入れたらどうか。/男/70~79 歳
- 制度や方策の策定はもちろんであるが、各人や団体が具体的に取り組む中で、互いに考え合ったり、行動するなど、できることから一歩ずつ進んでいくことを大切にしたい。理屈だけで理想を求めても、なかなか実現していくことにはならないと思う。まず、自分のできることで立ち上がってみることでしょか。/男/70~79 歳
- 出会いの場や男女が話しを出来る場。社会がどうす

- ればよいか決めていくのに、よく話し合っただけで、長い時間をかけてよくなるように地域で、まず、いろいろな世代間で問題について話し合っただけで議論してみた方がいいと思う。これからだと思う。／男／40～49 歳
- 特にありません。移住者です(東京で勤務していました。67 歳まで)。／女／70～79 歳
- 市の事業として「男女共同参画」を何に取り組んでいるのか知らない。条例の中に 7 つの基本理念があって、これらを具体的に何に取り組んでいるのかが見えない。計画に対して遅れているのか?どこまで何が出来ているのか?これに対しての反省は?／男／40～49 歳
- 男女共同参画という言葉で、女性の地位向上をうたっているが、世の中の女性はどれほど望んでいるのか?本当に大多数の人が違くなってPTA会長や議員になりたいと考えているのか?都合のいいことだけ、平等や地位向上を目指しているように見える。是非このような意見も、取り上げ公表して欲しい。／男／30～39 歳
- 男女平等社会を目指すのであれば、市役所自身がお手本として行動を示すことが必要です。市長に面会するとお茶を出すのは決まって秘書課の女性職員、市のイベントで司会をするのは女性が多いという現状を見ると、旗振り役である市役所自体の意識に疑問を感じます。まずは、トップである市長が行動をもって見本を示すべきです。どんな手本を示してくれるか楽しみにしています。また、新しい計画の策定については、前計画の単なる焼き直しとして数字の更新や単語の修正、国、県計画のコピペに終始するのではなく、上田市として目指すべき新しい男女共同共生社会が具体的に提示されることを望みます。／男／50～59 歳
- 集計お疲れ様です。我々市民のためにいつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。／男／30～39 歳
- 今回のアンケートで初めてこのような事業が行われていることを知りました。「どうすれば参画してくれるか」よりも「どうして参画しないか」を、社会に出てからそれなりに経験をつんでいる年齢層にアンケートをとってから、そのアンケート結果に対しどう思うか、意識改

- 革するためにどうすべきかを考えるべきではないかと思いました。18 才～20 代の若い世代の意見を聞くことも重要なのは理解できますし、機会が与えられることは嬉しく思いますが、まだ学生あるいは社会に出たばかりの者が考えて出したアンケートの回答内容に信ぴょう性があるかも少し疑問に思います(特に「どういった改善が必要か」という問いに対して)。／男／20～29 歳
- 質問項目のつくり直しを考えて次回の調査に活かしてほしい。長野県は未成年の自殺者数が全国でも非常に多く、これは家庭内暴力や、いじめ、LGBTなど今日の問題とも密接に関係しているだろうと考えている(相関関係は明らかになっていない)。他都道府県の子どもの数と比較しても、異常な値だと思うので、この問題についても、本調査のように意見を聞き、住民の認識を確認する機会を設けてよいのではないかと。また、質問の選択肢そのものに対して、「当事者(子どもをもつ人、女性、子のいる男性)が解決すべき」であるかのように作られている。直接的な当事者ではない人々の認識を変えることが運命線だろう。／女／20～29 歳
- 移住された方には上田市はやっぱ住みよいところだといわれる様によい環境に、人のやさしさ、日本一の移住の県になる場所にして行きたいものです。／女／70～79 歳
- 男性、女性ということで分けることなく、1 人の人間、個々の人間として対応できる社会であればいいと思いますが…。ただ、女性ということで傷ついている人、大変な思いをされている方の窓口が充実していれば(相談支援機関)周知されることも大切かと思います。／女／40～49 歳
- アンケートに記入するさいに、気付かされたこともありました。勉強になりました。ありがとうございます。／男／40～49 歳
- 男女平等を強調しすぎに感じました。「男は仕事、女は家庭」この教えで一致している夫婦がいれば、それは否定されるべきではないと思います。男女共同参画、男女平等をうたうあまり否定される人がいる気もします。DVや差別は許されることではありませんが、男女でくるのではなく、人として相手を思いやる気持

- ちについて広める活動の方が、より世の中のためになると思います。参考資料にあった女性の割合についてですが、各役を志望する男女比なしでは、参考になりません。志望する男性が女性より多ければ、役につくのは男性の方が多くなるのは、おかしいことではないと思うためです。／男／20～29 歳
- 男女平等、男女共同参画とはいえ、グローバルリズムを押し進めている現在、日本の文化、昔からのいい物をこわす事なく「日本」という国体を守っていく事が大事だと思います。日本人を優先。／女／50～59 歳
- 事業の明確化、又、市民に広く周知されるような工夫を更に考察して欲しいです。いろいろな事業がある事は承知しており、感心するところではあります。／女／70～79 歳
- まずは政策の場（自治体の議会）での女性の割合が増える事で、女性の立場での意見が言いやすくなると思います。／男／40～49 歳
- 女性の意見をとり入れる必要がある。例えば上田市発展のために真田程の素晴らしい方が居ますので、もっともっと盛り上げて行けば良いと思う。／女／80 歳以上
- 言っても人の話を聞かないのが国の政治だ！！／男／70～79 歳
- 現代は共働きがあたり前。少子高齢もあいまって、育児、家事、介護は、夫婦と行政があわせてしなければならないという現実。個人の意識が変わり、行政の事業が充実していくことが大事だと思う。大変な時代ですね。／女／50～59 歳
- 少子高齢化に大きく関係する課題であると思います。女性の社会進出による、未婚率の上昇や、晩婚化など少子化に繋がっています。女性にしかできない大きな役割である出産。地域や家族がみんな支え、女性が出産、子供を育てる事ができる環境作りが大事です。一方的な考えだが、女性は（男性と共に）子供が成人になるまで愛情を持って育て上げる。その後からの社会での活躍でも遅くないと思います。社会全体が女性を大切にしていかなければいけない。／男／50～59 歳
- 特になし。／男／60～69 歳
- むずかしかったです。これからの日本人で生きていくのは…大変なことだと思いました。／女／60～69 歳
- コロナ禍の中でも、経済が落ち込まないで！家庭の中に不和が入り込まないで！それを願うばかりです。できるだけ支援ができる事はして欲しい！意とする事は違いますが、現在の、コロナ禍の状況を見て欲しい！／女／70～79 歳
- アンケート集計にどれだけの税金が使われるのですか？手紙ではなく、ネット上での入力にしてください。古いです。／男／30～39 歳
- 若い年代 20～30 代は、男、女の役割を昔ほど重視しておらず、育児、家事も平等に行うようになってきている。しかし、保育、ベビーシッターなどの制度が不十分であり、母親が家に残るとい昔ながらの体制は変わりづらい。又、金銭面的負担もある。市の予算を見つめ直し、前例主義の公務員組織の見直しを計り、本当に必要な事業へ投資してもらいたい。若い人の教育、40 代以上の上席クラスの意識改革が必要だと思う。予算に関しては強い不満を感じている！／男／20～29 歳
- 子供を産みたいと思えるような、社会になっていけばいいなと思います。／女／50～59 歳
- 非常に良いアンケートだった。本当に内容を精査して今後の上田市の雇用や子育て世代、介護を行う人々にとってよりよい施策、施設が増えていって欲しいと思うし、ただのアンケートとして終わらせて欲しくないと思う。／女／30～39 歳
- 各年代別にお願いしたら。／女／70～79 歳
- 問 18 については、もっとテレビとか新聞とかでとりあげて、子供達にもわかりやすくやった方がいいと思いました。／女／50～59 歳
- ご苦労様です。たまに銀行などで入り口に案内の方が立っています。窓口前のスタッフがいらつしゃると、気持ちがいい。見た目には分からない不自由さをかかえている人もいるので、助けるスタッフが当り前にいると、ありがたいです。※女性が一步下がる風土？が根つき過ぎていますね。良い点でも有ります。／女／50～59 歳
- 男女平等を考え、アンケートに答えていたら、私の中に「家事は、女性の方が向いている」「男性は稼がなくちゃ、経済的大黒柱であるべき」という意識があること

に気づきました。平等でないですね。自分の得意を生かして生きてゆく事を由と思うけど、得意をわかっている人がどのぐらいいるのか？それがお金になり生活してゆけるか？他人の得意を解かろうとする人、それを認める人もどのぐらいいるか？一人で生きてゆけるなら、やれる事をやり、後は、お金が解決…できるのか？結婚したり、協(共)同生活になると、役割がでてくる、担うことになる。その役割が、均等でないと、不平等なのか？ちがうな…話し合う事、わかり合う事。何をするか、何ができるか、何をしてもらうか、どうしたいか、「声を上げる、声を聞く」そういう場が必要と思います。人は、スタートしてから平等ではありません。この時代を精一杯生きて行きたい。／女／50～59歳

○一桁生れの老夫婦です。皆様に迷惑を掛けないよう日々をおくっております。よろしく願います。／男／80歳以上

○先日のどこかの県の男性のようにLGBTを誤解していたり、会社での立場＝社会での地位という、年配の男性をたくさん見てきました(サービス業で)。若い人たちの方が、やわらかい思考で色々考えられると思うので、男女…の前に世代交代してほしいです。また、職業での男女平等は看護師や保育士など、微妙な場合もあるので、一律に平等は難しいと思います。男性らしさ、女性向きなど議論すべき職業も多いですね。上田市もどんどん新しい風が吹くことを願っています。／女／50～59歳

○女性は家事、育児も、仕事も地域の役員なども、全部もつとつとがんばれ！という方向にならないといいなと思います。／女／30～39歳

○子供に対する施策が最優先されていくべき。／男／70～79歳

○家庭、地域、職場、学校で男女平等と相互理解のための学習を充実する。／男／80歳以上

○男女共同参画や男女の人権を尊重する考え方は一人一人の意識を変えていくことが必要です。それには、一番身近で参加しやすい自治会ごとに講師を招き、その問題の講演会や話し合いの場を設けていく。これから社会に出て行く子供達に対する教育、家庭での家族間の接し方や学校での学習の中でその意識

を持って接していくことが大切だと思います。／女／70～79歳

○若い人達がもっとたくさんの子供たちを産んでくれる様に最大限に、援助をしてあげてほしいと思います。保育園などをもっと沢山作って安心して子供をあずけて、働ける様に、市でも国でも努力してほしいです。これ以上、一年間に産まれる赤ちゃんが少なくなったら、この国は年寄りばかり増えてしまい、国がつぶれてしまいます。赤字国債ばかり発行して、ずっと国を維持していくつもりなのでしょうか？／女／60～69歳

○「男女平等＝全て同じにする」ことではないことを理解することが大切です。できないことを補いあえる社会になればよいなと思います。子供(女)には、常々「家事、育児はどちらがやってもいい」「女の子だから…と言ってあきらめる必要はない」と伝えていきます。10年後位には、そんな子供世代と一緒に働くことを考えると、親世代は柔軟な物事の考え方を持っていないとダメだろうなと思っています。私自身、ダイバシティについて2年間勉強する機会があり、考え方がとても変わりました。年輩の方は難しいかもしれませんが、40代はまだ間に合います。言葉でいくら言ってもなかなか理解されない面もあるので、教育の場も大事にして頂きたいです。／女／40～49歳

○読むのがものすごく大変でした。／女／50～59歳

○上田市には上田音頭と言う歌が無いので、私が作詩した信州上田音頭を作曲して、上田の観光大使のロンビアローズさんに歌ってみたいです。作曲の先生は市におまかせします。／男／70～79歳

○上田市は産業も観光も佐久と比較して劣ることになっています。上田市を活気が出るようにするには、道路整備をして、通行量を増加させることが必要です。特に松代に行く峠を冬でも安全に通行できるようにして、上田では勤務する会社がない東信出身者の人に住んでもらうようにして人口増加をして、若者が地域づくりに参加して活気が出るようにする。／男／60～69歳

○まずは夫が変わらない限り、自分から見た世界の男女平等など考えられない。幼少期の育て方が大事、それからです、市など事業の事は。／女／30～39歳

○Twitterなどを活用して、今後のイベントや活動結果

などを助け、より多くの人に活動を認知した方がいいと思う。／男／18・19 歳

- 自治会のことですが、自治会長と言われる人に、私の住んでいる地区は、女性がいません。男の社会です。女はシャシャリ出るなという事なんです。絶対におかしいと思っています。上田市のことですが、思いきって女性の副市長を登用したらいかがですか。さすれば、上田市は、男女共同参画にすごく、積極的な市と、アピール出来るはずです。／女／60～69 歳
- 男女の差など、感じる事なく、これが当たり前と思って生活してきましたが、少しずつ、差別が無くなるのはうれしいです。／女／70～79 歳
- 働いていくためには保育園が必須なので、保育士に対しての報酬をもっと高くして良いと思う。現状では、やめていく人が多いので、良い人材が育ちにくいと思う。／女／40～49 歳
- 今、コロナでなかなか人が集まる事がむずかしい時代ですが、それだけになお、女性の力とシルバー世代が、その役割が増えてくる気がします。新しい変革の時代に、新しい世界が現れてくると思います。／男／60～69 歳
- 理想論でなく、もっと泥くさい基本から地道に教育が必要。日本(世界的)に男性重視の世界だと思う。根本的教育が必要。／男／70～79 歳
- 家庭でも職場でもギブアンドテイクで言うテイクを欲した人が得をしていると思う。そしてテイクばかりの人が増え過ぎていると思う(ギブの部分誰が補足しているのかを理解していない。)。→多分、男性はギブ部分を女性に…という事が多いのでは…。男性、女性でも、どんな職種でも、その人を生かして行ける社会環境になっていく事を望みます。共同参画したくても、男性ならではの、女性ならではの特記した職種の就いた人が、会社では別の人に仕事を委託できない(例えば、重量物を扱う仕事があれば、会社の環境から変えないといけない事になる←女性にお願い出来る様にするには)。問 5-1 と問 5-2 の 5 ですが、「妻が」前提なんですね。自宅介護を「無職」の扱いにする所もおかしいと思っています。誰かに頼めないから、がまんしている人が多いと思う。施設がない、高い、いつ終わるかわからない毎日、負担は誰が、何処がし

ていくか。介護慰労金…ずいぶんな手当てですね…。誰でも就きたくない仕事です。／女／40～49 歳

- 正規で働いていますが、子どもがカゼをひいたり、園(学校)の用事等で休みが多くなってしまいます。有休もありますが、私も含め、周りを見ていると有休が足りず…またたくさん休むことにより会社(同りょう)にめいわくをかけてしまい…いろんな思いをしながら、日々働いています。多分、育児は母親となっているからで、父親も家庭の都合で休みやすい社会になれば、上記のような女性のなやみも減るのかなと思います。むずかしいですが…。／女／40～49 歳
- 女性が活躍するように環境を整えようとしているのは、アンケートでもわかるが、男性がもっと協力的にならないといけないと思う。私の働いている会社は、仕事をして人生の価値を高めると考えている雰囲気がある。間違いとは言わないし、社会をまわす為に重要な事と思うが、男性ももっと家庭に帰れるような環境を整えて欲しいと思う。／男／30～39 歳
- 私が結婚前まで勤めていた職場には「産休、育休」の制度はありましたが、一度も使った人はいませんでした。なぜなら、就職中に妊娠がわかると会社内で退職させる雰囲気になり、「産休、育休」制度を使う前に、皆さん女性は退職されていきます。私もその 1 人です。妊娠がわかり嬉しい気持ちのまま会社に報告をし、産休制度を使いたいと申し出たところ、産休の説明どころかその話に触れることなく、休んでいる時の給与補償は会社にとって利益がない事や、今まで誰も使ったことがない…。色々と言われ精神的に変になりそうに妊娠している体にも悪く、居づらくなり退職しました。この会社は中途採用で職安紹介で入社し 5 年。職安での求人票に「産休育休制度」有だったのでここに決めたのに、いざ使おうとしても使えず、表向きに制度のみ有る状態。役員、各部の上司は全員男性。理解してもらえないはずないですかね。こんなことが普通にどこにでもある社会で、男女共同参画、期待はしたいですか…ぜひがんばって下さい！！／女／40～49 歳
- 数合わせのために女性を登用するのは反対。出世を望む女性ばかりではないことを頭に入れておく必要あり。男性の年収が減っていることが問題。公務員の年

- 収は 3 割程度減らして財政再建すべき。公務員の給料は非正規労働者の年収も含めて算定すべき。公務員サイコーでは日本の将来が危ぶまれる。／男／40～49 歳
- 女性が社会参加する為に、幼児、子供の一時預かり所の設置(ドイツなどでは、女性が働く、集会参加等、出掛ける場合など一時子供を預かる施設が充実している。夫婦で出掛ける時など、共に行動する機会が多く、充実している。)／男／70～79 歳
- 官公庁の内部調査感ありで、一般市民には「ちょっと」馴染めない。男女共同参画に国を上げて(特に地方は力を入れているようで)大々的にやっていて、参考資料(4)の市町村職員(…)に占める割合が上田市は、39 位とあまりに低い感がする。女性にももっと頑張ればと、やる気を起こさせる教育等をして増やせばどうか！市長の配慮を願いたい。もっとイベント等で女性の地位向上をアピールしては？／男／80 歳以上
- アンケートの取り方を紙でなく、PCやスマートフォンを使ったネットでのアンケートとした方が手軽で良い。／男／20～29 歳
- 育児で一旦、仕事から離れた人に対して、抵抗なく再就職(復帰)できる環境があれば、その人の能力も向上し、社会にコウケンできると思います。／女／20～29 歳
- 男性と女性の仕事に対する意識差がある限り、意味を成さない。統計的には、出世欲の様な、男性の方が強い事もあるだろう。女性で管理者になりたい、会社を経営したいという願望がある人の少なさで、一般企業では、平等と言ってもそうならない現実が変らない限り、当該のアンケートもあまり意味を成さず、絵に描いた餅にすぎない。☆このアンケート集計で、いったい、いくらの人件費(税金)を使うのか?! マークシートなど効果的な手法など…考えるべき。民間の努力を考え、余計な税金を使うな!／男／40～49 歳
- みんなが同じはむずかしいですが、個々の能力が、生(活)かせる社会になるといいですね。／女／50～59 歳
- 市政が男女共同参画づくりを策定しても、企業(事業主)が変らなければ、社会は変わらないと思います。／女／40～49 歳
- 上田市は長野県の中でも女性議員の割合が多いことを資料で知りました。日本では、近代まで主に男性中心の教育制度や社会制度が形成され、それは何らかの形で現代まで残っていると思います。若い世代を中心に男女平等に対する考え方は根付いてきていると思いますが、まだまだ世代全体、社会全体としては、そうではないように思います。まずは、法律や条例、政策の決定の場に女性の声をより多く反映させ、男女平等の体制をつくっていくことだと思います。／男／30～39 歳
- 問題をどう(解決に向けて)取り組んで行くのか、マイルストーンを明確にして、衆知する、経過を報告することが重要と思います。／男／70～79 歳
- 行政と地域間の交流が重要と思います。定期的な話し合いの場を設ける事も必要と思います。／男／60～69 歳
- モデルケース(育休、介護休)、実例の紹介をしてほしい。年功序列での昇進制度の廃止。／男／20～29 歳
- 女性が働き続けられるよう、育児休暇、介護休暇制度の周知、取得しやすい環境作りにも力を入れていただきたい。病児保育、学童保育等のハード面も充足できるようにお願いしたい。／女／60～69 歳
- あくまでも私個人の考えですが、昔から、男尊女卑の考えが、年長者ほど有る。年長者の価値観など変わる事はない。子供達に悲しい歴史として教えるのは良いが、その考えを植えつけないでほしい。80 才を過ぎて役立つ老人は良いが、役立たない老人は尊厳死も、考えてほしい。例えば、80 才を越える時、延命治療を希望するのか、しないのか、本人が判断できる内に意思表示をしておいた方がよい。色々な持病で、ただねているだけ、胃ろう等をして年金目当てに生かされるだけというのは、生きている意味があるのか?介護する側の負担増すばかり、『名優色を好む』という言葉も大嫌い。今時こんな事を言うと笑われる。が、なぜか、パワハラ、セクハラが絶えない。パワハラ、セクハラで悩んだり、転職したり、自殺におこまれた女性がどれほどいるだろうか?全日本人が、今、行動しなければ、未来は明るくひらかれない。／女／50～59 歳

- 古い内容の活動では参加しづらいです。各地域の自治会の活動内容を見直し、女性でも出来る事で変わると思います。山林手入れなど、(マダーなどの)参加した時のケガの保障など無い活動、使用していない農水路の掃除が男女共同参画とは？(全員が農家ではない)男女とも共通と思う災害訓練…どの場所に避難するのか？その場所へは車で移動okなのか？車で避難が一時的に出来る場所か？など、活動内容も見直し、行政が動く所が必要と思います。※避難所の男女とも、必要な事がある。(あくまで1例ですが…)※土日休みはありますが、土曜日は通院(介護なども含む)などあり、日曜日が唯一の休みに、自治会の活動があるのはどうか？と…市の休日が出来、その日に活動するなど工夫も欲しいです。／女／40～49歳
- 政治、社会から女性の登用、配置等を積極的登用しなくては変わらないと思う。特に政治家の女性比率は先進国で日本は最下位？ではないか。いつ迄に女性の政治家を何%するか、特に若手の女性を起用すべきを目標にする。今の70才以上の政治家では決断が出来ない。政治家は自らが身を引く(小泉元首相)事が大切と思う。日本のトップから変えていかないと、市民の意識を自ら変える事は少し無理がある。大きな会社では、幹部を何年まで、30迄に上げると掲げている。市の行政も一緒、市議員も女性を増やす、70以上の議員を減らす、若手30代の女性議員立候補を応援する等したい。行政に女性を増やさないと、日本のこれからはないと思う。国民の意識を変えるには日本のトップの発信力が重要！！その支援を行政に願います。／男／70～79歳
- ゆうぶらざ、男女共同参画ですばらしい取り組みをしているのに、場所が目立たず、もったいない。ひとまちプラザの中にするなど、立地的、駐車場的に人目につく場所に移動したら良いと思う。しかし、女性の悩み相談など、人目につきたくない心理が伴うものは、今のまま残すなど、検討してみたらどうか。／女／50～59歳
- 高齢者や介護施設を4人部屋など、特養多くしてほしいです。待っていてもなかなか受け入れて頂けないです。全国民にマスク10万円など、コピーなど大変なことです。もっと大変な人達がいっぱいいます。国民年金より生活保護を受けている人達は医者料もただで、生活保護を受けている人達の方がお金も多いらしいですネ。おかしいですネ。／女／80歳以上
- 男女関係なく、適材適所で家事に向いている人が家事を、仕事に向いている人が仕事をする社会になっていくといいと思います。／女／50～59歳
- 働く女性、育休を取る男性が増え、家庭は女性、仕事をするのは男性という意識は少なくなってきた気がするが、会社の中の職種のイメージは、事務は女性、営業や外に出るのは男性というイメージや意識が強すぎる。女はこういう仕事、男はこういう仕事という固定概念がなくなるようなアピールだったりをしてほしい。そういう場を作ってほしい。／女／20～29歳
- 育休、介護休暇をとりたくても勤務先の体制が整っていないと取得できない。仕事を続けたくても、保育園や介護施設の空きがないと仕事を辞めるしかない。行政には、受け皿を充実させるような政策を期待します。／女／30～39歳
- 産後の女性が社会で活躍したいとき、必要なのは子供を預ける先です。その為に、幼稚園、保育園を充実させて頂きたいです。よく、保育士さん達のお給料が安いこと、きついこと、人手が不足していることを耳にします。まずは『保育士さん達の地位向上、待遇向上』こそが女性も活躍できる社会の根っこになると思っています。このままだと、正に『やり甲斐搾取』です。『質の良い先生』をより多く集める為に必要なのは、「保育料無償化」なんかではないです。そのお金こそ『他人の子供を愛情を持って預かる先生達』に回してほしい。生活の為に、質の良い先生も離職してしまうなんてもったいないです。いつも子供たちを大切に下さる先生方に心から感謝をしている、いち保護者としての意見です。／女／30～39歳
- 女性が家事、育児をやるのが通常で、男性が協力しているというのが現状だと思う。男性の方が収入があるから、働いた方が生活も楽になる。女性がパート等でプラスの収入になるという感じで生活している。その中で、女性も参加してというのは家族はもちろん、施設などが夜遅くまでやっているなどの整備が必要になる。しかし、施設も月に何日も使用すると高額になってしまう。周りの整備をしないと、なかなか「私の

- 意見も」と立ち上がる女性がいないように思う。／女
／40～49 歳
- 男女共同参画、これについて知らなかったの、しっかり説明を記載すべきだと思います。上田で、このような取り組みがあることがわかり、良かったです。／男／20～29 歳
- もっと年が上の人にした方がアンケートの意見があるのでは…／男／18・19 歳
- さいたま市から転入したばかりなので、上田市の方針がまだよくわかりません。しかし、私自身もさいたま市で、人権擁護委員、地域包括支援センター連絡員、市民活動推進委員、NPO理事、養護教諭の職業を通じ、常に意識してきたことです。教育活動に特に大切であると考えています。返送が遅れ申し訳ありません。／女／60～69 歳
- 20 代の自分が社会で働き始めてから、今の日本は男女問わず 30 代以下と 40 代以上で、ジェンダーや男女の役割、女性に対する認識に大きなギャップがあることを痛感しています。若者は理解してきています。上の方の意識が変わらないと制度も変わらないのではないのでしょうか？／女／20～29 歳
- 市役所が積極的にトライしていくべき、それをもっと広報などを使って活動を広め、社会への女性進出を周知していく。／男／30～39 歳
- 女性の社会進出を強く望みます。自らがすすんで企業においては役職に、地域においてはリーダー役に。女性の絆がしっかり結べるよう、市が率先して参画の場を与えてくれるよう、あらゆる分野に目を向け、裾野を広げ(参画しにくい状態)をなくし欲しい(女ざっぺに、恥ずかしい、出しゃばり…)。／女／80 歳以上
- 「男女が共同である事」ということ自体がまず受け入れられない世代はまだまだいると思います。善きも悪くもの長野県民の気質があると思います。すべて全国を同じ考え方にするのは長い時間が必要なのでは？文化がそれぞれの地にあり、生きているのですから。／女／60～69 歳
- 育児休業を活用しているのは、大手企業と公務員だけ、中小企業は、活用できない、余裕がありません。公務員は、育児休業を簡単にとっています、休業中の給料は、休業できない中小企業の税金で払っているのでは？男女平等ときいたところは良いですが、中小企業の人達が、育児休業をとれる体制になってから、公務員の育児休業をとるようにしてほしい。コロナの影響にて日本がだめになっていくのに、男女平均は優先する課題ですか？／男／40～49 歳
- 性別に関らず、意志のある人の言葉をしっかりとときくような場を設けてもらいたい。女性であっても、いわゆる男性の仕事好む人もいます。その逆もあります。「やってみたい」という気持ちを大事にしてほしい。男女だけでなく、ジェンダー、LGBTの事も同時に考えていてもらいたい。／女／40～49 歳
- 年内で長く勤めた会社を定年退職します。私の職場は、女性が概ね、単純な作業で一日中競争の様に仕事をこなし、男性はほとんどが、管理する側で、女性たちの生産量をチェックしていました。私は、ずーとそんなシステムに不満でしたが、辞める勇気も無く定年となります。今時は、男女共に同様な教育を受け、学歴を持ちながらごく一部の優秀な女性たちがキャリアウーマン(ちょっと古い)などと呼ばれていました。長野の地域性か？女性が我慢しているのか？「君に能力が無いから！！」と一言で終わりそうですが、やっぱり男性優位の会社でした。定年になり、会社には捧げた人生を取り戻すべく、時間を大切に使いたいです。女性が充実した時間を持てる社会が来ることを希望しています。(愚痴です。誰にも言えないので。)／女／60～69 歳
- 日本に於いては古来より近代に至る迄、男尊女卑という言葉が存在したように、歴史上に於いても著名な女性の名前は殆んど残されていません。社会通念として「女子供」という感覚が今も尚、根強く残っていて女性の価値は低く見られてきました。欧米諸国と比較しても、この点に於いて日本は、とても先進国とは言えないと思います。上田市の参考資料を拝見しますと、3)市町村は議会における女性議員の割合はたった10%と、4)市町村職員に占める女性の割合は10%以下であり、いずれも少ないことが分かります。今後この点を改革していくことが必要だと思われます。女性が結婚後、社会に進出するためには、男性と協力して家事を行うことが不可欠であると思います。家庭生活と自身の他の活動も両立させて、男性も女性も互

いに人権を尊重し、平等に政策等の立案や決定への共同参画が出来るよう、持てる能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」が実現できればよいと思います。この場合、女性は新聞、TV、ラジオ等いろいろな情報から「社会の現情況」を知り、しっかり勉強することが前提となるでしょう。Where there is a will, there is a way./女/80歳以上

○私は学生で、毎回「広報うえだ」を読んで(目を通すくらいですが)いるのですが、上田市が行っている、男女共同参画づくりに関する事業が具体的にどんな内容なのか、どんなことをやっているのか、分かりません。私たち学生にも、市がどんなことを目指して、何を取り組んでいるのかをもっとわかりやすく、のせていただきたいです。社会に出たり、職や家庭を持っていない学生が、「男女共同参画社会」についての知識や関心をより高めていくことが、男女共同参画社会の実現に近づく一歩ではないかと思います。/女/18・19歳

○幼児を抱えての仕事は厳しいものがあり、自分自身で企業をとも考えているものの、起業するための情報がとぼしい。上田市で女性の起業を応援してくれる仕組みがあると良い。又、企業の求人では学歴を問う場合が多く、希望の職になかなか就けない。多くの企業では、結婚して子供が居る家庭の女性は、パート、派遣社員など、時間にゆうずうが効く仕事をするべきだという考えがあり、私自身主人に休みを取るよう希望を伝えても主人の職場上長より、女性蔑視の発言(女が子供をみれば良い)があった。泣く泣く2年勤めた会社を辞めることになった。市ですばらしい事業をしたところで、現場が変わらなければ、何の意味もない。仕事ができない。なんとかしていただきたい。/女/30~39歳

○男女共同参画づくりはしていますが、個人が理解し、だれでも参加が出来る様にしなければ、活動がだめになってしまう現状です。役員だけの団体ではありません。身近の問題ですよ。おおふろしきはやめて、もう少しわかりやすい活動にしてください。/男/70~79歳

○自分が二十位から考えることは一つしか有りません。社会(世の中)が平和で一人の人間として皆、常に平

等であってほしい。人種、宗教、その他の差別のない世界が理想だと思います。男女平等の問題も同じ事だと思います。但し、平等ということは、同時に義務、役割分担も有ると思います。権利だけを主張するのではなく義務も果たすべきではありませんか? /男/70~79歳

○当自治会では、自治会役員選出の際、必ず2名の女性を選出する決まりになっています。その際、役員はそれぞれ担当部所が決まりますが、女性役員は、活動の機会の少ない部所への配置が往々にしてあるように見られる。そのことが女性役員に対する思いやりと思いがいする。自治会長をはじめとする男性役員の考え方は、いかがなものか。/女/70~79歳

○上田市がどういう取り組みをしているのか、知りません。どういう働きをしているのか、市民がわかるようにして頂きたい。/女/30~39歳

○男女の身体能力の差や特性の差が人類学的に有ると思うので、全てが平等にはならない。なおさら不平等になることもある。生命の本質を考えるべきであると思う。/男/60~69歳

○5月に愛知県からこちら上田市に引っ越してきました。このようなアンケートをするのははじめてで、上田市特有のものなののでしょうか。このような機会を与えられただけでも男女共同参画に前向きな市なのかなあと思えました。男女平等で性に差別のない町づくりをどうぞよろしくお願いします。/女/20~29歳

○男女に関係なく、個人をひとり一人大切に。互いに理解し合う社会が大切だと思う。/女/40~49歳

各設問「その他」の記述内容

○問1(4)-1「その他」の記述内容

年金生活者／精神障害者の作業所／年金生活者／キリスト教布教者／作業所

○問1(4)-2「その他」の記述内容

年金生活／自営(息子の引継ぎ、その補佐)／溶接(自営)／代表取締役／会社経営／夫亡／農業／亡くなりました

○問1(5)-1「その他」の記述内容

孫夫婦と／祖母とおじさん／長男／母と妹／父親、兄／夫婦と子(夫婦)／交際中の女性と2人／婚約者と同棲／1 世代世帯(姉妹)／施設／3 世帯、子夫婦、孫／夫婦と祖母／姉と同居／祖父と兄／娘と／祖母、父、母、本人／母、兄／祖母と息子夫婦、孫／自分と義兄と子／私と長男、2人暮らし／2人で同居／両親と息子／長女と二人暮らし／母と／親、子、孫／

○問5-1「その他」の記述内容

生物学的にメスとオスの役割が分かれていると思うから。各々であり、おしつけるほうが、おかしいと思うので！／妻もそれを望んでいる／結婚、出産を境に仕事を辞める女性が多いため、補償が少ないこともあると思うが、現状の環境では仕方のない選択であるとも思う／個人差はあるが、性別によって向き不向きがあると思うから／男で生まれ女で生まれ、それぞれの特性があり、その特性を生かすことがいいと思う／各々の事情に応じてで良いが、④に共感している／米国や欧州でも夫が働き妻が家庭を守っており、それが自然の姿だと思う／得意分野を受け持つ／話し合いでどちらが主になっても良いと考えます／夫婦で共働きでも、やはり男性の方が仕事に、女性は働いていても、家事、育児にウエイト(比重)をおいた方が、うまく回って行くから／子供の教育にお金がかかるので、場合によっては共働きする／それぞれ家庭の事情に応じ、対処すればよい／次世代は別として、今の

世代の人達の考えがかわるとは思えないから／自身が男性であるからであって、男女(夫婦)いずれかが家庭中心の方が良い／子育ては夫婦最大の事業だと思ふから／女性の生理などが弊害していると思う／女性は(出産の可能性がある場合)、出産時、仕事ができない。その間は、会社としては、その人が帰ってくるのを待ってはられないので、さいしょから女性は家庭を守る事が仕事だという方が良いと思う／生物学的な観点で考えると性別による役割の適性は多少、人間にもあると思うから／男性は肉体的理由により出産出来ないから

○問5-2「その他」の記述内容

できる方がした方が効率がよい／家事も育児も介護も二人協力すべきと思う／いろいろ助け合いながら、できる事をやった方がいいと思う。その時々によって、男と女でいろいろせんたくした方が／仕事をする事は能力向上面でも精神的満足面でも良いと思うから／夫婦で働かないと子供たちを大学に行けなかった／「男性は仕事、女性は家庭・育児、介護」女性の社会進出の進展により前提条件が崩壊しており、合理的な役割分担とは言えないと考えます／仕事と両立できるなら、その方が良いと思うから／夫も育児をすることが前提にあってほしいため／お互いのやりたい事や得意な事、能力を尊重し合う関係がいいから／適切な分担は必要、しかし、個々の家族のありかた別になされるべき／そもそも、人を男女という2つのグループに分けて考えることがおかしい。やれる人がやれる事をやるのが良い。その結果、偶然、男性が仕事で女性が家庭になるかもしれないし、逆かもしれない／稼げる方が働けば良い、又、共働きも必要／生活のため働かざるをえない場合でも男は仕事だけしていればという考えがおかしい／個人の特性を生かすべき／女性が仕事をする、しないは、本人が決める事で、まわりや社会が決めるべき事ではない／国がらをかえていく事だと思う／自分の生き方を、自分で決める時代だと思うから／育児と介護は別の役割だと思うから／夫婦で働かないと生活できないから／現状は、男性の方が収入も多く、今の社会の仕組みを変えない限り、役割を固定しざるをえないところもあると思う／当

事者だけでは選択不可の状況が多い／家事、育児、介護は家族全員の仕事、役割だと思うから／共働きなので、固定したらなりたない／働きたい人は誰でも働くべき。勤労の義務もあるし／男性が家事を行っている。女性はほとんど家事をしない／1に近いが、自分自身で男女関係なく役割を選択できる権利があるから／得意な方、または、やりたい方が仕事や家事をすれば良いと思う／その夫妻によって価値観が違うので、他人が押し付けるのはちがう。それぞれの夫妻で役割を決めれば良い／わりと女性の方が家庭、育児、介護が得意で向いていること多い／共働きなどで、共通の苦労などを理解することで、不和を避けられると思うから(主婦と会社員という立場違いが減る)／それぞれの、その時の仕事の立場やタイミングで、やれる方がやれば良いと思う／各時、得意な方をやれば良い／家族は負担を分かち合うべきと思うから／家庭、育児は夫、妻で協力する物で、どちらかが負う事ではないと思う為です／その時の状況によって対応していけばいい／各家庭のやり方でやればよいと思う／どちらかではなく、本当にどうしたいか少しも古い考えにとらわれず、働くなら働く、家庭、育児、介護を担うなら担う、あるいは外部と協力して分担したりすればよいと思う／性別に関係なく、自分のやりたいこと、長けていることを続けるべき／家事、育児、介護を行うのに、男女の別は不要

○問6「その他」の記述内容

夫が家にいるようになり、家事を負担してくれるようになった。毎日ご飯を作っている事を変な事と違ってくれるようになった／特になし／一人住まいなので／普段通り／特になし／コロナには関係なく仕事をしていたので／ほとんど外出しなくなった。外のトイレを使用しない為。運動(1人)以外は家の中。買物はNet注文で素材を購入。スーパーは野菜とくだものを週1回～2回に1回位。家庭菜園で野菜をGet／特に変化を感じない／夫婦共通の趣味が出来た／元々、年なので二人が家に居て、農業をしているので変化なし／変わらない／外出や会合の機会が減り、心身ともに活気がなくなった／変わっていない／あまり変りない／マスクの使用のしかた／外仕事(農業)には変化

は感じない／手洗い、うがいをよくやるようになった／仕事と休日の境があいまいであるため休まらない／外出の機会の減少、自治会等、コミュニティ活動の減少／変化はない／いつもと同じ、変りなし／外出時間を少なくしている／特になし／毎日、夫といっしょにいるから変化は感じない／変化なし／介護福祉士として働いているので平常通り／あまり変化無し／気軽に外出出来なくなった／家で過ごす時間が有意義になった／変化はなかった／外出を控えるようになった／お出かけが心配が多すぎて出かけづらいなと思った／特になし／マスクや消毒に気を使うようになった／コロナ感染に気をつけるようになった／特に変化は感じない／特に変化なし。逆に仕事が忙しくなり大変になった／一人暮らしなので、苦痛も何も特に思うことはなかった／ひとり暮らしなので基本的には変わりませんが、外出を控えたり生活そのものが苦痛になった／変わらない／行動範囲が狭くなった／家に居ることが多くなり、あせらず、丁寧な時間を過ごせる／夫妻ともリタイアしているので、生活に変化はない／特に変化なし／マスク着用や、出先での消毒などの他、特に今までの生活と変わらない／外出の回数が大幅に減った／山、写真、名所／日常の衛生意識が上った／特に変化なし／コロナ感染症拡大による仕事への影響は、特になかったから／変わらない／特に変化なし／家族と過ごす時間が増えた／コロナに関係なく夫婦ともに通常の仕事だったため、よくわからない／外出時において人との接触を出来るだけ最小限にしている／県内に子供達が家庭を持っているが、前みたいに気軽に集まったりできない。友人とたまに出掛ける事もなくなり、ストレスがたまり、ゆううつな気分／特に変化したことはなかった／主人も家内での仕事なので、今迄とあまり変りない／体温を計るようになった／全く変わらなかった／特に変化した実感はない／独立した子供達との交流がなかなか出来ない事／特に変わったことはない。家や家族と過ごす時間は苦痛ではない／学校が休校になったことが、家庭にとって負担／自粛生活の中で、今だからこそ出来る事柄として、近辺の老令の方々に気づかいの手紙を書き、ポストinする機会が増え、これもまた充実した日々だと思っています／特に変化はない／近

所、まわりの人達との交流が薄くなった／一人暮らしのため、特に考えることもなく／外出や家族以外の人と接することがなくストレスを感じた／気軽に祖父母の家へ行かれなくなった／家から出づらくなった／変わらない。コロナに関係なく、家族との時間を大事にしていた／収入の減／外出から戻った際の消毒に気を配るようになった／かわらない／自営業のため、コロナ拡大以前とさほど変化を感じていない／二人共、老人なので、いつもと変わらない生活／気をつけてはいるが、家庭生活は特に変化なし／7月末に結婚式が決まっており、予定通りでしたが、コロナを気にする人は欠席など自由参加としました／変化していない／我家では大きな変化は見られていません／コロナ前と今も変化は感じていない／変化なし／外食が減った位で特に変化なし／あまり変わっていない／物を買わなくなった／何も変わっていない／特に変わらない／自由に掛付けられなくなり、休日の過ごし方への気遣いが増えた／家庭生活において、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、何らかの変化が生じたと感じることはあまりない／特に変わらない／仕事を家に持ち込む(テレワーク)ことによって、子どもは家で静かにしなければいけなくなった。しわ寄せが子どもにばかりいってしまっただけでかわいそう／とくに変わらない／すべてがストレスになった。自分が感染源になったらと思うと苦しい／設問3の苦痛より違和感の方が近い表現／家で楽しめることのバリエーションをふやしたいと思うようになった／変化無し／行動が制限されてストレスを感じる／家と仕事以外、どこにも行けない／それぞれが自立して生活することが大切であると実感／感じない

○問7「その他」の記述内容

校内で良い映画の上映会を何度もやり、教職員と生徒が同体験をし、話し合い、自分の考えを伝える機会を増やす。子供から自分の考えというものを引き出す事が大事／男性の意識を変えることが大事。内心では男が上だと思っている人が多い／男性と女性のもつ可能性を勉強する／既に平等です／結果として性別で差別されない社会の実現する為には、性別で区別しない公正な支援を行うことが必要(公共機関、企

業)。男だから、女だからということをお願いにしない意識づくりが必要(個人)／男女でくるのではなく、相手を思いやること(活動)を促進すべき(男女でくれる問題ではないと思う)／むしろ「教育」する方がよくないと思う／校長、管理者を増やすというのは本末転倒。実力で選ぶべき。女性が同じ実力なのに昇進できない制度、法律は無くすべき／成長の差が男女にあり、また体力等の違いから、子供だからといって何でも平等というのが、しょせん無理がある／男性がやって「当たり前」女性がやって「当たり前」の考えが無くなれば良いと思う。お互いができる事を『当たり前』にする事が大切だと思う／世代によつての考え方を統一する(昔の方が役割固定等の考えが強い)ため)／3案の教職員に限定した例そのものは、いかがなものか…！！(まるで、教職員が悪い、責任が有るようなもの)／そもそも平等という表現はどうか？体が違う事を平等で片付けてはいけないと思う／男女平等を押しつけすぎない／無理やり男性が～女性が～と強調しない方が良い。特にメディア各種／教職員の多くが、会社などの多数の人間組織に属した経験が少なく、研修だけで理解が深まらないと思うので、一般企業等で別組織に1～3年程経験を積むような長期研修制度があると良いと思う／差別と区別の差を考えられる社会性／全員に同じ対応すべき、ニュースとかでもイジメなど多くみるし、現に自分もイジメがあったとき、大人はなにもしないから／平等と公正、公平は違うと思う／月経周期調節ピルなどの知識を広める／そもそも男女が全く同じ人間ではないので、平等に考えるのはむずかしい。体型、体調、情緒…様々なことが男女では違うので／考えが偏っている人も、多様性の人もすべての視点から見る教育をすべき。また、海外の事例を取り上げて、自分の考えを作り、理解する世を目指すべき／人が嫌がる事は、やらない／「性別によって」という考え方があることがそもそもの間違い。男女以外の性もある

○問8「その他」の記述内容

働く必要があれば働けばよい／自分の好きにしたら良いと思う／個人の考えにまかせていいのかと思う／それぞれの自由。環境が(社会の)整わずに、出来る

議論ではない。自由の保証が一番大事／自分の思うように自由にしたい／本人の希望でよい／本人の意思を尊重して、決めるのがよい／男性と女性でその時によっていろいろできるように、やるべき事をやる／女性がやりたいようにすれば良い／夫婦間で話し合うことが大事／個人の裁量によると思う／各々が自由に決定できるような取りくみをすべき／“女性”がという質問したい差別を感じる。本人の意思があるならば職業をもてば良いと思う／女性の意志や男性の意志、子育て全てを夫婦で考え抜いた結果ならどれも良い／夫婦で相談して決めるべきだ／本人が望む期間、持つのが良い／職業を持ちたいなら持てばいいと思う／日本政府の老害が多すぎる。よけいな事を女性に対して言う。このような事がなおらないかぎりムリ／本人の希望により、職業の有無を決める方が良い(本人が社会とのつながりを保ちたいのであれば職業を持ち続ける方がよい)／仕事を続けたいと思えば家族と相談して続けられいいし、家族と過ごす時間を大切にしたいかと思うのであれば仕事をやめればいいし、自由だと思います／結婚や出産にかかわらず、職業を持ち続けてもよい／時と場合による／そもそもこの質問が愚問だ。このような質問が出る事自体に憤りを覚える／女性だから、などと考えず、夫婦で話し合っただけより良い選択をすればよい／その時々でとりまく状況や環境も違うので一概には言えない／個人の特性を大事にし、したい職業につく方が人生楽しいし有意義／個人の選択が尊重されることが大切である／その人それぞれの選択ができれば自由で良いと思っている／結婚や出産にかかわらず、働く社会体制が必要だと思います／あくまで女性本人の選択の自由。家事、子育ては男女共に“女性の仕事”という固定概念を取り払うべき／本人の希望や家庭の状況によって決めればよい／社会の働く女性に対するサポート、観念が不十分である為、子どもができたなら職業を中断せざるを負えない事が多い、という事実をもっと広くの人に知って欲しい。一度中断すると子どもがいるという理由で再就職が難しい／夫や子どもと相談して、家族で決めればよいと思う／それぞれの状況によるので、何とも言えない／育児に専念したい女性は離職し、出産後も職を続けたい女性には

特に夫の協力により、続ける方がよい。女性の気持ちを尊重したい／その人の自由でよい。平等という考えかたがよくわからない／女性が働かないと生活できないのが問題／並行して家事もこなすべき／女性、一人、一人がそれぞれ選択すべき(家庭の事情等を考慮して)／それぞれの家庭の事情で決めること／個人の好きにすれば良いと思う／本人や家族にとって、いちばんよい方法をそれぞれが選択できることが大切／男女関係なく、その人個人の考えが尊重されるとよい／その時の家庭の状況によって変わる。職種にもよる。個別に考えるべき／その家庭の状況により考えれば良いと思う／個人の希望、家族構成と状況、職場の環境によって、選択すると良い／それぞれの生活があり、どのような選択も可能な社会に近づけたらいいと思う／1 と近いのですが、一人の人間として、職業を持つことは、当然と考える。「結婚・出産にかかわらず」と、限定することなく／個人の自由だと思う。それぞれの状況に応じて考える事だと思う／一概に言えない／人それぞれ。自分で選べばいい。女性というより個人としてみてほしい／その人の人生なので、やりたい事をやった方がよい／その人、個人個人の思いに応じて、やる、やらないを決める／職業を持つ持たないは、人によって異なると思います。結婚や出産後は専業主婦になりたいと思う人も居るでしょうし、専業主婦になりたくてもなれない、つまり共働きするしかないという人も居ると思います。職業を持つこと自体は賛成です／結婚や出産にかかわらず働きたい人は働ける世の中だといと思います／個人個人が選択していけばいいと思う／その人の価値観や家計のことを考えて、それぞれでいい。家にいたくても働かなければ生活できないこともある／家事に専念すること、職業を持つことを、それぞれのその時の状況で、選べる方がよい／その時々で判断すればよい／本人の自由にするとよい／職業を続けるか否かも含め、パートナーと相談、納得して決められるのが良いと思います。女性だから、ライフイベントのタイミングで「こうすべき」でなく、本人、家族が自由に選べ、社会がそれを応援する仕組みが必要だと思います／特に何も思わない。それぞれ事情があり個人の選択を尊重する／個人の事情、仕事の種類によって

様々だと思うので、「職業を持ち続けている」方が良いとも悪いとも判断できない／私は、旅館をやっておりましたので／女性が家事以外に職業を持つかどうかは、個人が希望や事情に応じて判断することであり、女性一般的に確一的な規範を押しつけるべきでない／女性が家事を仕事と考えても、外で働く事をのぞんでも、良いと思う。問題なのは、働かなくては生活できないから、仕方なく外で働くという事／個人の生き方は人それぞれだと思うので各自の判断にまかせるべき／その人が本当にどうしたいか？それが大切だと思う／個人の自由にできる社会にする／それぞれの家庭の自由であってよい。職をもつ、もたないも自由に考えるべきだと思う／本人次第／私は農家だから、男も女もなく働いた

○問9「その他」の記述内容

子どもが病気等になった時に、仕事を早退したり、休んだりしがしにくい現状があると思います／20年前に比べて女性も活やくし始めている／妊娠、育児中に対する職場の理解／ベビーシッター等、高令者に比較して育児サービスのメニュー、予算が少ないこと／この設問でききたいことについて考えたことがない／社会全体の考え方、理解の違い／1～10 どれもあるかと思いますが、なぜ3つまでなのでしょう？13、1～10 全てがあっても良いのでは？／出産等、生まれもった身体的特徴が原因で、仕事を続けることが困難になる場合があること／子供の急な発熱等で休まなければならない事があるが、休みづらいというか子供を言い訳にする訳ではないが、やはり子供がいての仕事で大変だと思うのはその辺り／分からない／育児と両立できるように無理なく仕事できる仕組みがないこと／家事をしなくなる。男性は仕事と家事を両立しているのに／会社間で、制度の有無、内容の差が大きい／家事育児を何かに頼ることは悪だと思ひ、思われがちなこと／平等で対等に働きたいという女性が、どれだけ存在するか？意識差がある限り、成立しない／家庭での育児や介護の負担が多い／男性に比べて更年期症状がきつい／会社によって状況が異なってしまうこと。ただしむやみに行政が口を出すべきではないとも思う／育児の中心は母親であ

ることが望ましい。仕事を続けることは制度上、また職業にもよるが、組織、職場の立場からは難しさがあると思う。キャリア形成の面でも男性と差がつく／育休中の賃金減少や、育休終了後の業務復帰への自身、周囲の空気、認識の悪土が出ること／会社内で休業した際に仕事の割り振りをする人材がいない。女性はすぐ会社をやめるからといった感じで、2人目を作りたくても雰囲気的にできないこと／妊娠、出産、育児で仕事との両立が困難になること。乳幼児など、まだ小さい子どもが居る場合、就職活動で不利(採用されにくい)になることが多いと感じる／①本当に、働きたいと思っている女性がどれくらいいるのかという事。②働かざるを得ない子育て世代のお金の事情。③8時から17時まで会社にいないといけないような一般の会社の働き方／すべての人が楽しく働けるように理解し合う方にしたほうが良い。女・男と区別せず個人を見た方が良い／70才以上でも働ける職場がたくさんほしいです／産休、育休の制度があったとしても、職場の雰囲気から、その制度を利用できず、退職を選ぶことがある。あるいは、利用したとしても復しづらい環境がある

○問10「その他」の記述内容

経験が少ないため、やりたがらない／代表になりたがらない／教育が伴わない為、意識の向上が遅々として進まない／女性の意識が後ろ向きだから／女性で積極的な人が少ない／率先して引き受けようとする意志が欠如している／適任者が絶対的に少数であり、女性自身がやるものではないと思っている。考え方の違い／自分だったら女性も応えんしたい。どんどん女性も首相とか会長とかやっているところを見たい／女性自身がやりたいと思っていない／団体の参加者の比率として女性が少ないからではないか？／母集団(会社、自治会組織等)の女性の割合がもともと少ないこと。辞退する女性が多いこと／自主的にやりたいと思う人が少ないから／女性自身の気構えが無い／育休、産休等により、職場等を離れる期間が生じるため／女性にやりたくないという人もいると思うから／そういった場に出たい女性の全体数が少ないからではないかと思う／世の中(現在)に応じて考える必要があり、わ

ずらわしい人間関係がからみ、ライフスタイルのじゃまになる。→自治会、PTAなどはいらない／女性自身がその意識がないから／人には向き不向きがあり、責任の重さをとらえ方が違うのでは？／女性が目立つことが良くないという社会通念と女性による妬み／女性がやりたがらない／能力の問題／昨年頃より女性役員が多くなった様に思われる／政治、行政は分からないが、自治会やPTA等はやりたいと思う女性は多くないと思う／積極的に役職に就こうと思う人が、やろうと思う人が女性は少ない。女性の意識が少ないのでは／やりたい人が少ない／女性の参画意識も低いから／女性の能力が正当に評価されないから／女性自身にやる気が無いため／女性は人前に出る、立つ、話す事を嫌がる傾向が多いため／男性は割り切った判断、お付き合いが上手だと思う／未だに立場が弱く意見なんて通らないとあきらめているから。仕事をしていても、結局家事をやらなくなるとならないために時間がない／めんどうだから／面倒くさいし、偏屈な人間もいるから／何世代も前から、代わる努力を男性側が怠っているため／女性自身がそういう役になろうとしていないと思う／女性という立場を盾にしているから／女性自らが、このような場に出る気運になっていない／家事などを理由に女性自身が積極的に参画しようとしていないから／女性自ら自主的に取り組まない／地区又は、学校単位でやり方が違う事も多く、なりたいたと思わない／子育て等、家族の都合で退職に至る場合、組織に残る人が男性が多くなり、結果として管理職を担う人も男性が多くなると考えます。自治会では、家庭の代表として夫側が出る人が多いのではと考えます／女性は尻ごみするケースが多い、頼んでも断わられてしまう／自治会に関しては、そもそも「婦人部」というのが不思議です。育成会などでも、男性女性で分けず、一家庭一人で都合がつく方が出席するという形で、問題ないかと思いません(夫婦でしっかりコミュニケーションをとり、引き継ぎするのが原則ですが…)／そもそも女性がやりたがらない／上に立ちたいと思う女性が少ない／個人の能力の差／そのような仕事は男性の方が合っているから／やらなくて良いものは無くして、本当に必要なものだけにして、多くの意見を聴けるようにすれば良い。

IT 技術も進んでいるのだから男女の区別より仕組みを変えるべき／男尊女卑が強く、子供がいない家庭を馬鹿にするから／能力と財力が必要。資質が必要／意識の問題／女性の立候補者が少ないから

○問 12「その他」の記述内容

すべては教育されていない、古い社会構造のたまもの／育児、介護の必要がなかったから／長期仕事休むと戻りにくいから(仕事内容の変化、周りの環境)／近所の親せき等、周囲の評判を気にするから／子供、赤子、育児への苦手意識。上司が良い顔をしないから／自分に変わる人間がいない／社会全体的に女性が育休をとり、男性は育休をとらないものという雰囲気があるから／男性自身が育児、介護について学ぶ機会、姿勢が少ないから／休業しても不利にならないシステムが出来ていない／大きなプロジェクトをかかえている等、途中で抜け出せずタイミングを逃してしまっている／育児や介護は女性がすると考えている男性がいるから／会社に制度がなかった／替わる人がいない(仕事)／自民党が悪い／幼児のお世話は父親でも大丈夫だと思うが、乳児の世話は母親の方が向いていると思う／前例の少なさもあり、取得しにくいから／どうしたって気まずい空気になる／給与が減ってしまうから／楽したいと思っているから／固定概念がそうであるから／休業あけに社内の環境が変わっていると居づらくなる／男性が育児休業をとる事がまだ定着していない。会社に男性の育児休業があることを周知されていない／家事ができないので、休業をとっても役に立たず、じゃまなだけだから／日本の働き方が、昔からまだ代わりきれていない／前例がないので取得しづらい／育児休業→子供がいない。介護休業→介護必要になった事がまだない／利用出来るような、社会全体の制度になっていない／前例のないことをするには勇気がいるから／まだ必要がないから／妻と夫の間での理解度の差？／会社のしくみ、人材が不十分だから／家庭において経済的に優位なのが、どちらかに存在する／母乳が出ないから／職場の雰囲気もある／慣習と先例が社内にならぬから／男性のつまらないプライドが有るから／企業の制度や人員が不足している／業務に支障が

出るポジションに立っていると取得が困難なケースもあるかもしれません。収入減の可能性(取得中の期間、月収がげんがくする可能性)／利用するのがあたりまえ、という認識が全体に不足している／育休休業を取るのは理想ですが、実際、会社側からすれば休まれると困るし、余裕がない／そんな余裕のある会社、人多いの？進まないのは、いろいろな意味で矛盾を感じます／社会の風潮で取得しづらい雰囲気だから／復帰時に特に開発系の仕事は特にそう感じるが、周りから置いていかれる(浦島太郎)的なことを考える／制度が普及していないから、回答はむずかしい／育児、介護は女性の仕事で、男性は外でお金をかせぐという固定概念が昔からあるから／男性自身が必要性を感じていない人が多いと思う／ただ単に、家事、育児をしたくないから／私が働いていた時は、制度がなかった／収入が減るから／社会通念上、男性が育児、介護のために仕事を離れることに対する抵抗感／そういう風潮や前例が少ないから

○問 13「その他」の記述内容

夫婦共に教員ですが、人手不足を解消すること／会社内の人材を増やし、育休など取りやすい状況を作る／経営者の考えを変えないと／教育を通じて、それが当たり前、という社会を目指さないと不可能／社会でコミュニケーションできる場を増やして相談できる話し合いの場や、男女で思っている事をきょうゆうする場を作る／AI技術の活用等により、生産性の高い働き方に移行すること(勤務時間の削減につながる)。男は仕事、女は家庭という古い固定観念から脱却する為に、具体的な新しいライフスタイル(道徳観念)を提示すること／核家族化に問題があり、人間関係(近所づきあい)が希薄になった／夫婦(当事者)間の理解／男と女が同じ位の収入となっていない！同じに参加出来ない／年配者が手助けする／海外の様に時間には帰れる様に、職場の長は考える。上司が帰らないので、自分も帰りづらい環境はやめる／若者の教育により、時代の流れも必要／本人の覚悟、自己犠牲／男性と同様に女性も仕事と家事を両立すること／生き方に「ゆとり」が必要と思う／独身の方に地域活動に参加してほしい。人手不足／男性及び父親

に対する支援活動を増やしていくこと。母親のための支援の方が世の中では多く感じます。又、上田市主催のイベントのお知らせ(広報うえだ)を見ている、「お母さん」又は「ママ」の言葉が気になります。「保護者」で良いのではないのでしょうか／すべての人が考え方を变えること。個人を理解できる社会になり仕組みが後押ししてくれること／社会全体的に賃金増加

○問 19「その他」の記述内容

お互いを尊重すること／よくわからない／LGBTなどに偏見を持たないこと／性別で能力を判別しない／分からない／わかりません／相手(お互い)の事を理解し合う考えを持つ／男性、女性ともに等しい量の仕事と家事をこなすこと／過剰なアピールをせず、能力、成果、人権的に対等であることを示す(周囲の理解、リテラシーの向上が必要だが)／地域活動や社会活動は、山林手入れや川そうじなど、力(ちから)仕事が多い地域活動が多いので、別の物(企画＝災害対策で、ひなん訓練など)にかえる／自然と変化して行っていると思う／小、中、高校の学校で男女平等について考える／今そうになってないの？／家庭内活動や仕事、政治もやりたい人が参加しやすい社会制度があるとよいと思う(現状、そういったものがあるので、あればもっと周知してもらいたい)／行政と教育機関が連携し、参画機会を拡大する／全員が心も経済も自立していなければ、何かにとらわれてしまう／他者を否定しない、色々な考えがあると受け止める／「性別による」という意識をなくし、「個人」として社会全体を見ていくこと／アンケートをとる前に、政治とかで動く必要がある

○問 20「その他」の記述内容

周知徹底、啓発だけではなく専門的な知識と実践力をもった方が上に立って行動を仕掛けていかないと変わらない／関係ないかと思いますが、パートですが、現職場の時給が安すぎる。不満の職員が多いが、他の職場に移るのに年令もあり、など、楽しく働きたい／社会的地位や性別に捉われない市民や消費者等、多様な主体からSNS等を活用して意見を聴くシステムの構築／どれも啓発していただければありがたい

です／金銭補助／分からない／男女問わずお互いを認めあい、協力する／男性も、もっと女性が働けるよう協力すべきだと思う／能力順にランク付けすればいいだけ／地域の名の知れた人を優先的に選ぶ風習を正すべき／行政が生活のバックアップをする／年々、気候や人の変動があるので、災害対応を考えてくれる事！避難所の女性扱いや準備とテントなどの個人空間の確保／この質問が男女を対等にとらえていないように思う。男女が平等になると、素敵な日本になるのかな？／一言で言うと、「働き方改革」。保育園の入園には、ゆうせん順位がある。「正社員、8h労働、昼間みてくれる人がいない」など。そういった順位などを廃止してほしい。フレックスや1つの案件に対しての対価を払う、請負うなどを正社員、パート、フリーランスなどのしきりを、なくすべきだと思う／民間にプロジェクトを任せてやってもらう取り組みを試みる。色々な人がいるから色々な選択枠が必要／下宿に居たため、期限内に返信出来ませんでした。すみません／1～14 まで全てが女性差別の言葉になっている